



大塚だより

大田区立調布大塚小学校

校長 玉野 麻衣



学校からの情報発信について

副校長 戸村 隆之

2学期が始まり1カ月が過ぎました。猛暑が続く、さらに区内で豪雨被害があるなど、気候変動が激しいことを実感する1カ月でした。先日の激しい雷雨のように、児童下校時に危険がある場合は学校に児童を留め置く場合があります。その際、本校ではクラスルーム「学校からのお知らせ」と大田区の緊急連絡システムメールで保護者の方に連絡をしています。先日の豪雨災害では、大田区の緊急連絡システムがサーバーダウンし、学校からのメールが遅延してしまいました。ご不便おかけして大変申し訳ございませんでした。

10月18日(土)に体育発表会を開催します。日頃の体育授業の成果を発表する機会です。児童が創意工夫し、演技、種目の準備をしています。多くの保護者、地域の皆様の参観をお待ちしております。

体育発表会に向けての活動や日々の学校での児童の様子を本校ホームページ「今日の調布大塚小学校」のページで発信しています。

また、始業式や終業式などの行事では、代表児童が話をする機会を設定しています。毎回、心に響く話を子どもたちがしています。その内容についても「児童代表の言葉」のページで公開していますので、ぜひご覧ください。

さて、10月から大田区小中学校で利用する保護者連絡システムが変わります。9月16日に「保護者連絡アプリ「tetoru」への移行について(依頼)」の文書を配信しましたのでご確認ください。学校や大田区教育委員会からの連絡をスムーズに受信するためにも、早めのアプリインストール手続きをお願いいたします。このアプリでは、連絡の受信だけでなく、児童の欠席などの連絡にも活用します。ご理解、ご協力よろしくお願いいたします。

現在のページ: 調布大塚小学校 > 学校生活 > 児童代表の言葉	
児童代表の言葉	
始業式、終業式、行事などで児童が行った代表児童の言葉を紹介しています。	
9月1日(月曜) 2学期始業式	
3年1組 代表児童の言葉	2学期がんばりたいこと
ぼくが1学期がんばったことは国語の学習です。とくに漢字をおぼえることをがんばりました。家でたくさん練習が2学期がんばりたいことは3つあります。	
1つ目は漢字の学習です。1学期にもがんばった漢字を2学期でもがんばりたいと思います。むずかしい漢字をおなじようにあきらめずに練習します。	
2つ目は体育発表会です。とくにときよう走をがんばりたいです。さいごまであきらめないで走りつづけます。目に、ぜんりょくで走りたいたいです。	
3つめはめりはりのある行動をすることです。メリハリは学習の目ひの1つです。遊ぶときは遊ぶ、学習で行動します。めりはりを意識するために、時間を見て行動したり、友だちと声をかけ合ったりしたいと思っています。	
ぼくは1学期の自分よりさらに学級の目ひや学年目ひようを目指して、2学期がんばって取り組みたいです。	

10月の生活目標

「ものを大切にしよう」

○普段自分が使っている学習用具や学校で借りたものを大切に使っていますか。ものを大切に使うことは自分や友達を大切にすることにもつながります。この期間にもものを大切にしているかふり返ってみましょう。

10月の保健目標

「目を大切にしましょう」

○2学期にも視力検査を行います。メガネを持っている児童は忘れないようにしましょう。授業中タブレットを使う際は、姿勢に気を付け画面と目の距離を意識しましょう。

4年生より

4年担任

1学期、4年生は「総合的な学習の時間」で「障がい」について学びました。大田区の福祉課の協力を得て当事者の方や、支援団体の方と出会わせていただきました。当事者の方の困りごと、生活の中で工夫されていること、社会に望むことなどを具体的に教えていただきました。また、「車いす体験」「白杖体験」を通して、身体や目が不自由な方の身になって介助することも体験しました。学習の中で「障がいはその人にあるのではなく、社会にある。」という言葉に出会い、そこからこどもたちは、「社会にある障がいをなくすにはどうしたらよいか」「誰もが住みよい町にするために必要なことは何か」という問題意識をもちました。

2学期、この問題を解決するために、それぞれ関心があることをテーマに選び調べていくことにしました。今、「ユニバーサルデザイン」「バリアフリー」「デフリンピック」「手話」「点字」「介助の仕方」などそれぞれのテーマを設定し調べています。そこから、自分たちができることを探り、見つけたことを、実践したり、他学年の児童や地域の方に発信したりすることを目指していきます。こどもたちの問題意識や意欲を大事に学習を進めていきます。

保健室より 食欲の秋！おなかの調子を整えよう

養護教諭

「おなかの調子が悪い…」と保健室に来る児童は少なくありません。1学期、保健室に内科的不調で来室した理由で1番数が多かったのが頭痛(123件)、2番目が気分不良(108件)、そして3番目が腹痛(51件)でした。おなかの調子が悪く痛むと、学習に集中できなくなったり、食欲も減退したりしてしまいます。そんなときは、おなかをあたためたり、横になって休んだりすると、改善することが多いです。

おなかの中には「腸」と呼ばれる長い管があり、食べ物を消化したり、体に必要な栄養をとり入れたりしています。この腸は「第2の脳」とも言われ、心や体の調子に大きく関係しています。

腸を元気にするには、ヨーグルトや納豆、みそ汁、野菜や果物などをバランスよく食べることや排便リズムを整えることも大切です。さらに、朝ごはんをしっかり食べること、よく噛んで食べることもポイントです。

また、早寝早起き、外で体を動かすこと、リラックスする時間をもつことも、腸の働きを助けてくれます。食事と生活を整えて、「第2の脳」を元気にし、毎日をいきいきと過ごしましょう！

体育発表会の見どころ

体育発表会委員長

体育発表会では、日々の学習や生活の成果を発揮することをねらいとし、「表現運動」「短距離走」「たてわり班競技」に取り組みます。表現運動では、各学年の表現したいテーマをもとに、目一杯に体を使って表現します。表情や掛け声、道具の使い方などに、こどもたちの想いがのります。短距離走では、手の振り方、目線、カーブでの体の傾け方など、どうすれば速く走れるか、体育の学習で学んだことを生かして走り抜けます。勝ち負けだけではない「やりきる」ことのよさも学びます。たてわり班活動は、折り返しリレーを行います。学校目標である「他学年とのかかわりを大切にしよう」を実現するため「未来実現プロジェクト」のこどもたちが競技内容を考えました。これまでのたてわり班遊びで深めた仲のよさを、作戦会議や練習で磨きをかけ、お互いに応援合って勝負に挑みます。

今年の体育発表会のスローガンは、「全力！協力！かがやけ調大小！」です。各学級から案を募り、代表委員会がまとめました。一人一人の頑張りがきらりと輝く素敵な1日になることを期待しています。